

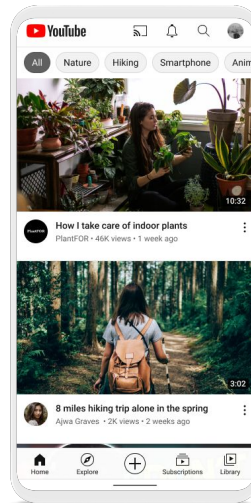
# YouTube で動画が おすすめされる仕組み

おすすめ動画は、視聴者がお気に入りのコンテンツを見つけるのに役立ちます。YouTube は、再生履歴や検索履歴などの数多くの情報に基づいて、視聴者との関連性の高い動画をおすすめしています。それと同時に、表示されるおすすめ動画を視聴者が管理するための機能も提供しています。また、有害な誤った情報や、ガイドラインのボーダーライン上のコンテンツがおすすめに表示されないようにするためのシステムもあります。

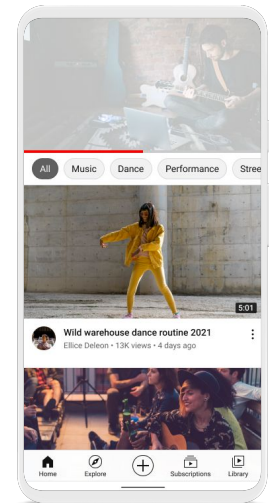


## YouTube でおすすめ動画が 表示される場所

おすすめの動画やピックはYouTube のトップページと、動画再生中に次に見る動画を提案する [次の動画] セクションに表示されます。



トップページの  
おすすめ動画



動画再生ページの [次の  
動画] のおすすめ

## 視聴者に動画がおすすめされる仕組み

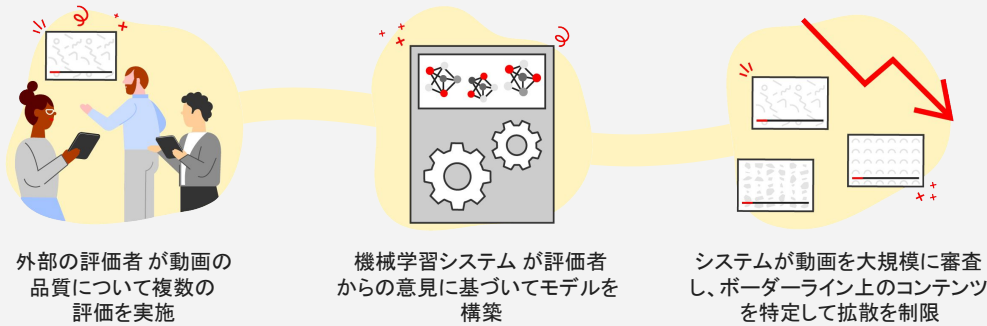
視聴者ごとに関連性の高い動画をおすすめするために、さまざまなシグナルが考慮されます。

コンテキストのシグナル	個人のアクティビティのシグナル	動画のパフォーマンスのシグナル	Google による対応のシグナル
地域	チャンネル登録	アピール 視聴者がおすすめ動画をクリックして視聴しているか(クリック率、YouTube 内でのユーザーからのフィードバック)	おすすめする頻度を下げる ボーダーライン上のコンテンツ(コミュニティ ガイドラインに違反するかどうか)が際どいが、明確には違反していないコンテンツ)や、ユーザーに有害な誤解を与える可能性のある動画
言語	検索履歴 YouTube と Google 全体での履歴	エンゲージメント 視聴者がおすすめ動画をどのくらいの時間視聴しているか(平均視聴時間)	
時間帯	再生履歴 YouTube と Google 全体での履歴	満足度 視聴者が特定の動画を楽しんでいるか(高評価 / 低評価、YouTube 内でのユーザー アンケート)	

# 有害なおすすめ動画から視聴者を保護するための仕組み

2019年、YouTubeはガイドラインのボーダーライン上のコンテンツの拡散を抑制するためのおすすめシステムの変更について発表しました。その結果、米国ではその年の登録チャンネル以外のおすすめコンテンツの総再生時間が9%減少しました。他の国でも、おすすめ動画に表示されるボーダーライン上のコンテンツの総再生時間が減少しました。2021年3月現在、YouTubeはサービスを提供するすべての市場においてボーダーライン上のコンテンツを削減するためのおすすめシステムの変更を展開しています。

## ボーダーライン上のコンテンツを見つけて制限する仕組み



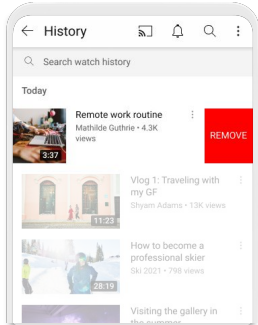
# 0.5%

アルゴリズムが順調に機能し始めるまでには時間がかかり、ボーダーライン上のコンテンツの消費状況が変動する可能性があるため、登録チャンネル以外のボーダーライン上のおすすめコンテンツの視聴回数を0.5%未満にすることを目標としています。

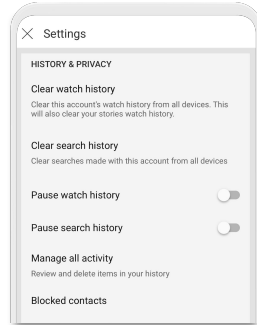
# おすすめされるコンテンツを視聴者が管理できる仕組み

YouTubeには、視聴者がプラットフォーム上での体験を調整したり、おすすめするコンテンツの判断に使用される個人情報を決定したりできるさまざまなツールがあります。

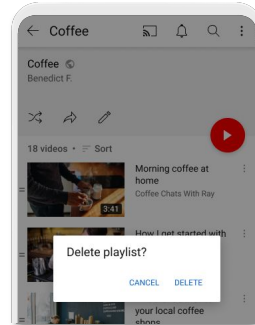
## 個人のアクティビティのシグナルを管理する



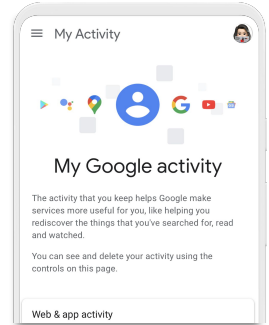
再生履歴や検索履歴から特定の動画を削除



再生履歴と検索履歴を消去または一時停止

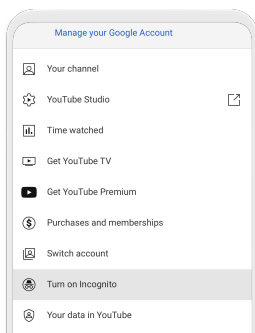


高く評価した動画を削除、再生リストを編集または削除



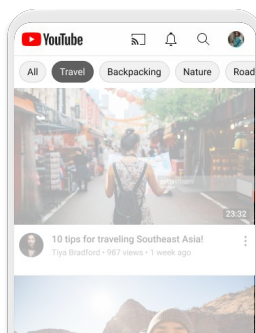
myactivity.google.comでGoogle全体でのブラウジング履歴を表示して管理

## 非公開で閲覧する

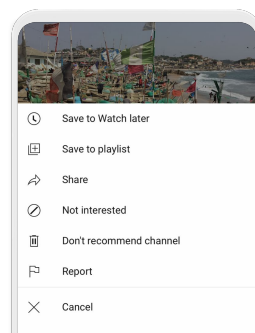


シークレットモードで閲覧して再生履歴がおすすめに影響しないようにする

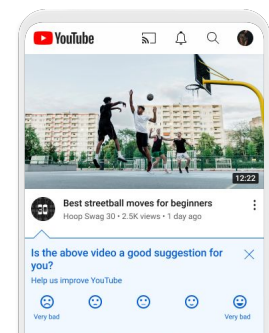
## おすすめを調整する



おすすめ動画のトピックを選ぶ



興味のないおすすめコンテンツを削除



アンケートに回答して直接フィードバック